

(4) 道路網の整備

海岸沿いの国道229号等の道路対策では、地域住民および国道利用者の安全確保のため、越波防止対策事業の促進について、早期整備が図られるよう、引き続き関係機関に強く要望してまいります。

国道5号および277号、各道道道についても、引き続き、改良整備促進等について関係機関への要望を続けてまいります。特に、北海道新幹線新八雲(仮称)駅前への新設道路およびそのアクセス道路となる道道八雲北松山線の整備について、北海道への要望および協議を進めてまいります。

町道については、経年劣化による損傷が進んでいる路線については、今後も計画的に道路改良整備を実施してまいります。

橋梁については、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、定期点検の実施および維持管理コストの縮減に向けた効率的、計画的な修繕により、安全性を確保してまいります。

(5) 交通体系の整備

北海道新幹線については、

2030年度の札幌開業に向けた工事が進められています。今後も、沿線自治体、各期成会および関係機関と連携しながら普及・啓発活動に取り組み、新幹線建設工事の円滑な推進に努めていくとともに、新八雲(仮称)駅の周辺整備についても、平成30年度に策定した基本計画をもとに、新駅へのアクセス道路、新駅からの二次交通、ソフト対策など、具体的な内容の検討を進めてまいります。

高齢化・人口減少が進展するなか、生活に必要な買い物や通院などの移動手段の確保は重要課題であることから、町全体の公共交通の基本計画である「八雲町地域公共交通網形成計画」に基づき、八雲町にふさわしい公共交通について具体的な検討を進めてまいります。

また、北海道新幹線札幌開業時にJR北海道から経営分離されるJR函館本線・函館小樽間の地域公共交通の確保方策について、北海道と沿線15市町で構成する北海道新幹線並行在来線対策協議会において、調査・検討を進めてまいります。

(6) 上・下水道の整備

水道事業は、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、「八雲町水道事業ビジョン」に基づき、老朽化した配水管の更新および電気計装設備や施設の延命化を図るための修繕等を行うほか、経営戦略の策定に着手してまいります。

また、今後もより効率的で健全な事業運営に努めてまいります。

熊石地域簡易水道については、計画的な水道老朽管の更新および浄水場等の機械設備の更新を行い、安定した水の供給に努めてまいります。

下水道事業については、八雲地域においては、八雲下水浄化センターの長寿命化事業が完了しましたが、引き続き、令和2年度よりストックマネジメント事業を進めてまいります。

熊石地域においては、令和2年度完了予定でありました鳴神地区の管渠新設工事について、現在、対象家屋の下水道への接続が見込まれないことから、休止することとしました。

農業集落排水事業については、落部地区排水処理施設

長寿命化を図るため、計画の推進に努めてまいります。

また、下水道整備区域外については、水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図るため、合併処理浄化槽による水洗化の推進を図ってまいります。

真秋ポンプ場については、長寿命化計画に基づき整備を行ってまいりましたが、今後、効率的な修繕による延命化を図るべく、次期長寿命化計画の策定に着手します。

(7) ごみ処理等の環境整備

ごみを資源として活用する「ごみゼロ社会」の実現は、長年の課題であり、究極的な目標でもあります。

「ごみゼロ社会」の実現は、長年の課題であり、究極的な目標でもあります。今後、ごみ減量化および資源リサイクルを推進し、循環型社会に向け取り組んでまいります。

「ごみゼロ社会」を目指すためには、町民皆さまのご理解とご協力が必要不可欠でありますので、今後も引き続き啓発に努めてまいります。

下水道汚水・し尿・浄化槽汚泥の処理一元化を行うため、整備を進めてまいりました汚水処理施設共同整備事業

(ミックス事業)が完了し、本年度より供用開始してまいります。

(8) 緑化・環境美化の推進

年間およそ70万人が訪れる道立公園噴火湾パノラマパークは、皆さまに愛されるよう、美しく、楽しく、そして安全な公園として、各種イベントの充実を図り、管理運営に努めてまいります。

町内の各公園については、遊具などの点検を行い、各町内会等の協力を得ながら、安全かつ適正な維持管理に努めてまいります。

(9) 防犯・交通安全の推進

交通安全運動の展開と、幼児や高齢者、児童・生徒等に対する交通安全教育を推進し、交通安全意識の高揚を図るとともに、自動車運転免許証自主返納支援事業を新設し、高齢者等の免許証の自主返納を促し、交通事故の減少を図ります。